

“ふるさとちば”のための政策推進を



はっとり友則県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

市民の声を生かして県政改革

地域医療連携システム構築へ

■八千代市特集■ 12月県議会一般質問



12月県議会一般質問に登壇した服部友則県議

「21世紀は千葉の時代」に県議選・八千代市選挙区で2期目の当選を果たした服部友則(はっとり・とも)のり)県議は多くの市民の支持を力に「市民の声を大切にしたい。県政改革、八千代市の都市政策」を重点に活動しています。中でも広域公園の早期供用へ力を尽くしています。

12月県議会では「がんセンター」の医療問題、「食育や教育採用」の教育問題について県執行部を質しました。また、「観光立県千葉」「農林水産業」質疑を行いました。主な質疑を1・2面で特集します。

医療問題

がんセンター機能強化を

服部 地域医療の建て直しに向け、医療機関の役割分担と連携を進める「循環型地域医療連携システム」の構築をどのように進めていくのか。

健康福祉部長 千葉県医療審議会が「千葉県保健医療計画」の見直し作業を行い、各二次保健医療圏内の診療所や病院等のネットワークと役割分担を明らかにする「循環型地域医療連携システム」の構築を進めていく。

服部 今後どのようにがんセンターの機能強化を図っていくのか。

病院局長 これまでも標準治療と併せて強度変調放射線治療など先進医療を行い、

観光立県ちば

四季活かしキャンペーン

服部 県経済への波及効果などちばディスプレイネーションキャンペーンによる成果を永続的なものとするため、どのような取り組みを進めているのか。

知事 成果を一過性のものにならないため、館山自動車道の全線開通に併せて海・花火・祭りなどの夏のキャンペーンを開催。収穫や温泉の秋のキャンペーンを続けて開催しました。

平成20年は1月から3月の「早春ちばめぐり」キャンペーンと四季折々の本県の魅力をしていただけのように感じています。さらに

同年秋9月くらいを目途に

全県統一キャンペーンの準備を進めています。

服部 豊かな自然や農業などを活用した体験観光について、本県の現状と今後の取り組みはどうか。

知事 47の体験観光事業者等によるネットワークが構築され、大山千枚田の田植えや岩井民宿のアジの干物づくりなど特性を活かした150を超えるプログラム

の充実が図られ、修学旅行をはじめ観光客が訪れています。今後も体験プログラムの充実、予約から体験・宿泊を含めた一元的な受け入れ体制づくりの促進などに取り組みしていきたい。

PROFILE/服部友則県議

自民党県連 組織委員会副委員長に就任

- 経歴**
 - 昭和32年5月 八千代市生まれ
 - 昭和56年3月 山梨大学教育学部卒
 - 昭和58年1月 八千代市議初当選(6回当選)
 - 八千代市議会副議長
 - 八千代市議会議長
 - 平成15年4月 県議会議員初当選
- 現職**
 - 平成19年4月 県議会議員再選
 - 県議会 県土整備常任委員長
 - 千葉県 国土利用計画地方審議会
 - 自民党県連 総務委員会
 - 八千代市卓球連盟会長
 - 八千代市防災協会副会長
 - 服部英数教室経営

要望 服部 がんセンターのがん治療と放射線治療は、全国でもトップクラスである。

千葉の医療のブランドを上げるには、がん治療と放射線治療を突破口に医師が自ら千葉に集まる体制をつくる必要がある。その取り組みをお願いしたい。

県政や八千代市のご相談、ご意見を聞かせてください

はっとり友則 県議事務所 〒276-0034 八千代市八千代台西 2-4-18
 TEL. 047-485-1400 FAX. 047-485-1443

八千代市民の視点で教育充実

■八千代市特集■ 12月県議会一般質問



県議会一般質問。自席で再質問する服部県議

『食育』の推進を提言

教育問題

スポーツ優秀教員採用を

服部 県教育委員会は学校給食を通して食育をどう推進していくのか。教育長 県教育委員会では県内すべての児童に配布した食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」を有効に活用しながら、指導していきます。

服部 スポーツや芸術で優秀な技能を持った方を教員として積極的に採用すべきと思うがどうか。教育長 子どもたちの価値観や個性が多様化する中で能力を伸ばすことが求められています。教育採用にあたって、専門性に加えスポーツや芸術分野における実績等を参考



医師が集まる体制づくりをがんセンターを視察する服部県議(左)(平成19年10月)

服部 本来、食育は家庭でなされるべきものだが、家庭で十分に出ていない分、学校給食でフォローしていかなければならない。

服部 本来、食育は家庭でなされるべきものだが、家庭で十分に出ていない分、学校給食でフォローしていかなければならない。

服部 本来、食育は家庭でなされるべきものだが、家庭で十分に出ていない分、学校給食でフォローしていかなければならない。

地元要望に応え早期供用へ

服部県議が地域政策の中でも重点に掲げる課題に「八千代広域公園」の整備があります。新川の水质浄化と一体で親水公園として市民の憩いの場づくりを訴えています。

県の財政事情により中核施設の県立中央図書館の建設が白紙撤回となり、代替施設を決定し

八千代広域公園

て基本計画の見直しを行う必要があります。服部県議はPFI(民間活力)を導入する協働も提言してきました。服部県議は「県の事情を考慮しつつ地元の八千代市の意向を最大限に生かせるよう行動します」と広域公園の早期供用へ全力を尽くしています。

市民のために
県政でチャレンジ
はっとり友則県議

12月県議会自民党代表質問

乳幼児医療費の拡大強く要請
12月定例県議会で最大会派自民党の代表質問に、石橋清孝県議は、少子化の中で、県民要求の強い乳幼児医療費助成事業について、通院医療費助成の対象を乳幼児就学前までに拡大するよう、県の決断を促しました。これに対し、植田浩副知事は「10月から助成対象を1歳引き上げ4歳未満とした」と報告。そして「県議会の意見や県民の強い要望を踏まえて、長期安定的に実施するために、所得制限の導入や自己負担額の増額なども視野に入れて調整中」と拡大に前向きな回答をしました。石橋県議は「自己負担や所得制限等の条件はあっても、小学校就学前までに拡大すべき」と重ねて要請しました。

農林水産問題

「ちばエコ農業」拡大進む
服部 平成14年に生産者消費者の環境保全と食の安全を考えた「ちばエコ農業」の現状の取り組みはどうか。農林水産部長 19年8月現在で栽培面積3457ヘクタール、水稲(全体の49%)、野菜、果樹など93品で、農家数は4583戸です。服部 県は「ちばエコ農業」の拡大にどのように取り組まれているのか。農林水産部長 19年度はマダイ121万尾、ヒラメ111万尾、クロダイ27万尾、マコガレイ48万尾の計307万尾を放流し、当初計画の27%増です。アワビは継続中で本年度計画の160万個は達成できます。

服部 平成14年に生産者消費者の環境保全と食の安全を考えた「ちばエコ農業」の現状の取り組みはどうか。農林水産部長 19年度はマダイ121万尾、ヒラメ111万尾、クロダイ27万尾、マコガレイ48万尾の計307万尾を放流し、当初計画の27%増です。アワビは継続中で本年度計画の160万個は達成できます。

服部 平成14年に生産者消費者の環境保全と食の安全を考えた「ちばエコ農業」の現状の取り組みはどうか。農林水産部長 19年度はマダイ121万尾、ヒラメ111万尾、クロダイ27万尾、マコガレイ48万尾の計307万尾を放流し、当初計画の27%増です。アワビは継続中で本年度計画の160万個は達成できます。

服部 平成14年に生産者消費者の環境保全と食の安全を考えた「ちばエコ農業」の現状の取り組みはどうか。農林水産部長 19年度はマダイ121万尾、ヒラメ111万尾、クロダイ27万尾、マコガレイ48万尾の計307万尾を放流し、当初計画の27%増です。アワビは継続中で本年度計画の160万個は達成できます。

もうとしているのか。農林水産部長 ①栽培技術の開発、普及さらに助成による新技術の導入支援②養液栽培やたけのこを対象商品として追加するなど認証制度の見直し③販売協力店の拡大と卸売り市場に常設コーナー設置④販売協力店の営業車ステッカー、コエバックの作成、配布などに取り組んでいます。今後は生産者の協議会を設置し、情報発信や技術交流、有利販売の活動支援などで一層の拡大に努めていきたい。